

総合整備計画書(案)

福井県あわら市北潟辺地
(辺地の人口1,261人 面積13.7km²)

1 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
北潟、赤尾、浜坂
- (2) 地域の中心の位置
あわら市北潟209-39-20
- (3) 辺地度数
101点

2 公共的施設の整備を必要とする事業

当地域は、あわら市の北部に位置し、市街地から約7km離れている。

この地は、環境省の重要湿地500にも選定されている北潟湖を有し、コイやフナなどの魚釣りや野鳥観察が楽しめるほか、日本有数のカヌーポロの競技地としても知られ、シーズンになると多くの観光客や競技者が訪れる。また、越前加賀海岸国立公園の一部にもなっており、風光明媚な自然の中、サイクリングを楽しむ個人・団体も多い。

北潟地区の人口は1,261人、世帯数は407世帯(令和8年3月31日時点)となっており、10年前と比較して人口で148人、世帯数で9世帯減少している。また、高齢化率は40%を超え、市内でも人口減少・少子高齢化が著しく進み、空家数も多い地区となっている。

北潟湖は、国内でも数少ない常設のカヌーポロコートを有し、令和9年度にはワールドマスターズゲームズ2027関西の会場として世界中のプレイヤーが来訪する予定となっている。そのほか、北潟地区では北潟湖畔公園での自転車・ボートの貸し出しや展望台の整備、花しょうぶまつりの開催など、北潟湖周辺の自然を堪能できる施策を展開している。

このため、あわら市の最大の資源の1つである北潟湖周辺の整備は、国内観光需要はもとより、インバウンド事業にも資することとなり、北潟地区のみならず市や県にも重要である。集客や観光交流人口のさらなる増加が図られるとともに、にぎわいの創出や地域振興における相乗効果が期待できる。

さらには、北潟地区は地区内に湖を有する特性上、地区と市街地間をつなぐ多くの橋梁を有しており、当該橋梁を含む道路の計画的な改良や整備は、北潟地区内の住民だけでなく市民全体の利便性の確保の観点から重要である。加えて、当該地区は辺地という地理的特徴のため、災害時に迅速に避難ができ、多くの住民の収容ができる公共施設の適正な維持管理や改修は住民の生命を守るために欠かすことができない事業となっている。

また、北潟地区は市内唯一の漁港である浜坂漁港を有しており、北潟湖の天然ウナギや寒ブナはあわら市の名産の一つとして数えられている。水産業のほか、サツマイモやメロンをはじめとした農業も盛んであり、農林水産業に従事する住民が多い地区となっているため、関連施設の維持補修・整備に継続的に取り組む必要がある。

そのほか、老朽化が進んでいる公共下水道施設の改修を進める。

3 公共的施設の整備計画
令和8年度～令和13年度

(単位:千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源の うち辺地対 策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
北潟湖周辺整備事業	あわら市	151,000	51,000	100,000	100,000
道路橋梁整備事業	あわら市	257,000	66,000	191,000	191,000
農林水産施設整備事業	あわら市	12,000	2,000	10,000	10,000
教育文化施設改修事業	あわら市	28,000	6,000	22,000	22,000
公共下水道設備更新事業	あわら市	24,000	0	24,000	24,000
合計		472,000	125,000	347,000	347,000